

## 令和元年9月定例会市議会市政報告

令和元年第5回釧路市議会9月定例会の開会にあたり、6月定例会以降の市政の概要についてご報告申し上げます。

最初の報告は、「**第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定**」についてであります。

去る6月21日、国において「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」が閣議決定されるとともに、地方公共団体に対し、次期「地方版総合戦略」の策定について要請があったところであります。

これを受け、現行の釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間が本年度で終了いたしますことから、外部委員で構成される「釧路市まち・ひと・しごと創生推進会議」並びに庁内組織の「まち・ひと・しごと創生推進本部会議」を開催し、第2期の総合戦略策定に向けた取り組みを開始したところであります。

第2期総合戦略策定に当たっての基本的な考え方となる人口につきましては、第1期総合戦略のビジョンを承継するほか、基本目標につきましては「釧路市まちづくり基本構想」における経済活性化を中心とした重点戦略と整合を図る形で整理し、本年度内の成案化を目指してまいりたいと考えております。

報告の第2は、「**第1回コンパクトなまちづくり大賞の受賞**」についてであります。

「コンパクトなまちづくり推進協議会」並びに「一般財団法人都市みらい推進機構」が主催し、国土交通省が後援する「第1回コンパクトなまちづくり大賞」におきまして、去る7月30日、北大通を中心とした「釧路中心拠点地区」の計画事業が、個別部門の「都市みらい推進機構理事長賞」を受賞しました。

本受賞の経緯は、国の都市再生整備計画事業を活用し、釧路市中央図書館や男女平等参画センターの整備などを行うことにより、都心部における持続可能な都市構造への再構築と地域の賑わいの創出が図られたことが評価されたものであります。

今後も、市民や民間事業者の皆様と連携しながら、地域へのさらなる効果拡大に向け、取り組んでまいりたいと考えております。

報告の第3は、「**ロシア国際漁業フォーラムへの出席**」についてであります。

7月10日と11日の2日間、ロシアのサンクトペテルブルグ市で開催されました「ロシア国際漁業フォーラム」に出席いたしました。

このフォーラムは、世界の水産市場の主な動向や水産物の国際貿易と経済関係の拡大、科学技術協力などについて議論されるものであり、2日目に開催された円卓会議では、私から「釧路市における水産業を中心とした都市経営」と題して、釧路市の紹介のほか、地

域の基幹産業の変遷、減少する水揚げ量と水産加工業などについて報告いたしました。

特に、国のプロジェクトを活用して進めている外国人観光客誘致に関しましては、釧路市が誇る雄大な自然や貴重な動植物のほか、水産業をはじめとする「食」を中心とした観光コンテンツの充実による外国人観光客の増加と、それらが地域経済にもたらす波及効果について報告したところであります。

また、フォーラムに参加するロシア漁業庁関係者や漁業関係機関の代表と、水産資源の持続的利用や環境配慮への取り組みについて、意見交換を行ったところであります。

この度のフォーラム出席を通じて、全世界に対し、魅力あふれる観光コンテンツを豊富に有する「ひがし北海道の拠点都市・釧路」を発信することができたものと考えております。

報告の第4は、「**台北市立動物園交流事業**」についてであります。

釧路市動物園と台湾の台北市立動物園とは、平成23年度にタンチョウを貸与して以来、飼育動物に関する学术交流を進めております。

この度、台北市立動物園におきまして、新しいタンチョウ飼育舎が完成し、10月6日に完成記念式典が行われますことから、関係者とともに出席いたします。そして、この機会を通じて、釧路市が有する豊かな自然資源などをPRしながら誘客にも取り組んでまいりたいと考えております。

また、この度、文化庁の許可を得て、初めて天然マリモを貸与することとなり、これにより、台北市立動物園では釧路市の宝である国の特別天然記念物タンチョウと阿寒湖のマリモがセットで常設展示されることになったところであります。

こうした学术交流の促進を好機としながら、大自然と共生する釧路の魅力を発信し、海外との相互交流の推進に取り組んでまいりたいと考えております。

報告の第5は、「**ベトナム・パラリンピック選手団の合宿に係る基本合意書の締結**」についてであります。

去る8月5日、「2020東京パラリンピックに向けた合宿の受け入れに関する基本合意書」の締結式を、ベトナム文化スポーツ観光省スポーツ総局 グエン・ホン・ミン 副総局長ほか、ベトナム政府関係者4名のご臨席を賜り実施いたしました。

基本合意書は、当市が陸上競技とパワーリフティング競技の合宿に必要な設備と練習環境を提供すること、また、ベトナム選手が当市の実施する交流プログラムへ参加することを主な内容としております。

本合意書に基づき、8月14日から27日までの日程で事前合宿が行われたほか、選手の皆様が市内の小学校を訪れ、子供たちとの交流会にも参加いただいたところであります。

いよいよ1年後に迫りました東京パラリンピックでのベトナム選手団のメダル獲得

に向け、しっかりサポートしてまいりますとともに、障がいがある人もない人も共に支えあい、地域で安心して暮らすことのできる「社会的包摂～ソーシャル・インクルージョン」の理念のもと、共生社会の実現に取り組んでまいります。

報告の第6は、「**工事発注状況**」についてであります。

本年度の建設事業の発注予定額は、約136億6千万円となっており、8月31日現在における発注済額は約100億4千万円であり、発注率は、73.5%となっております。

このうち、地元企業への発注は、金額で約92億6千万円、率ではおよそ92.3%となっております。

主な建設事業別の発注率につきましては、道路事業が約53%、上水道事業で約88%、下水道事業で約76%、住宅建設事業は約99%の状況となっております。

今後とも地域経済の動向を念頭に置き、工事の早期発注に努めてまいります。

以上で、市政報告を終わります。